



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

CITATION:

天象. 天界 1930, 11(117): 127-131

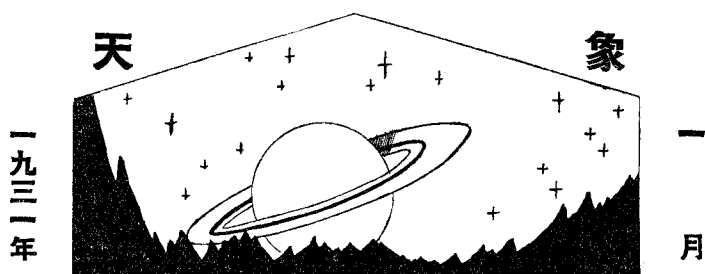
ISSUE DATE:

1930-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161605>

RIGHT:



太陽

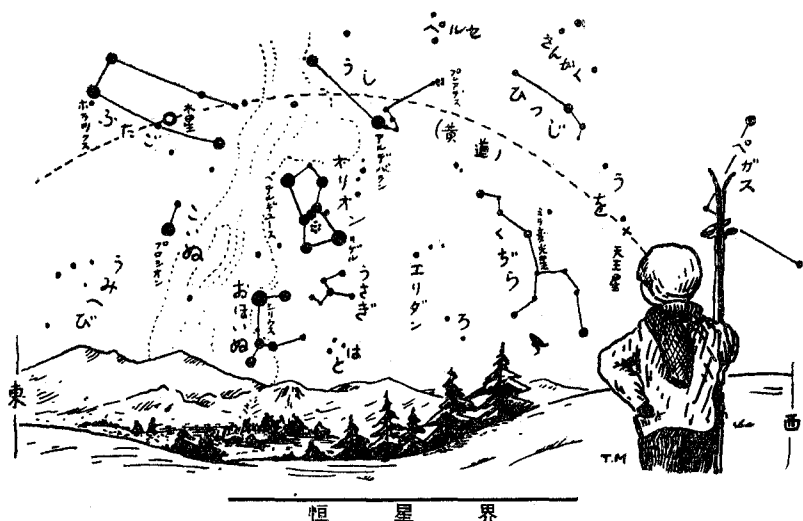
日	赤 經	赤 緯	視直径	星 座
1	18時42分23秒	南 23度 6分	32分35秒	い て
11	19時26分16秒	南 21度58分	32分35秒	い て
21	20時 9分12秒	南 20度 8分	32分34秒	や ぎ
31	20時50分55秒	南 17度40分	32分31秒	や ぎ

黄道上の位置は、月初めから麻羯宮で、二十一日から寶瓶宮に進入する。地球が近日點を通るのは三日で、その時の太陽の視直径は三十二分三五・一二秒である。

月

月の相	時 刻	視直径	星 座
満 月	4日午後10時50分	32分40秒	ふ た ご
下 弦	11日午後 2時 9分	31分56秒	を と め
新 月	19日午前 3時36分	29分47秒	い て
上 弦	27日午前 9時 6分	30分15秒	ひ つ じ
近地點通過	6日午後11時48分	32分57秒	か に
遠地點通過	22日午後10時18分	29分27秒	み づ が め
降交點通過	11日午後 0時24分	31分58秒	を と め
昇交點通過	25日午後 7時42分	29分47秒	う を

黄道上に於ける月の遊星曆訪は次の通りである。先づ四日夜半過ぎに遊星界の王者木星の南五度の所を通る。間もなく六日の夜半には火星の南をすれすれに通過する。息づく間もあらせず八日には海王星を訪れる。又十五日には金星、十七日には水星、十八日には土星を歴訪するが興味は少ない。最後に二十五日に天王星の南12分の近くを通り、月の一月中の遍路は終了する。

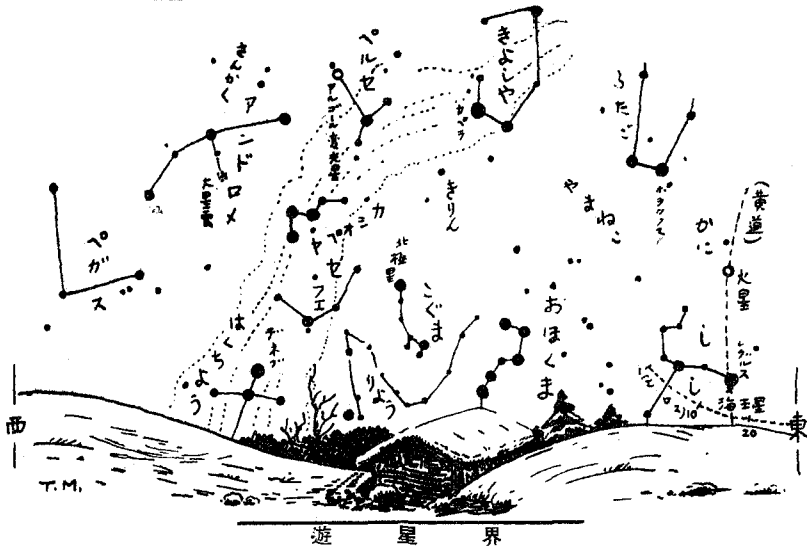


雲つてゐるのかと危ぶまれる程淋しい「うを」や「くちら」の秋の星座を西の空に押しやりながら、勇者「オリオン」のまわりに集ふ「うし」「うさぎ」「大犬」「小犬」「双子」などの賑やかな一團が勢揃ひして東の空に上つてくる。それは星に親しむものに冬の深まり行くことを教えると共に、新玉の年立ち歸り程なく春の訪づれることを告げるものに外ならない。それが地上の萬有が白雪の衣に蔽はれ、氷りつく様な静かな夜の空であつてみれば仰ぐ一人一人の心に夫々に深い印象を與へずにおかない。

北は沈み行く「白鳥」のあたりから「セフェス」、「カシオペヤ」、「駟者」などを浮べて、南は「オリオン」の肩をすぎて「大犬」に終る銀河の感じは、夏の空に勇ましく中空に横はる雄大さはなくとも、足駄のひゞきが澄んだ空氣にひゞく眞冬のものとしてなつかしいまでに神秘的なものである。

これらの星空を仰いで特に注意をひかれるのはペルセの二重星團とアンドロメ座の大星雲、規則正しく變光するアルゴール星などである。

恒星天の闖入者木星と火星が今しも「双子」と「獅子」の間を縫ふて、一はそのすぬけて大きい輝きと、一はその赤い色で、いづれも“旅の者”であることを示しながら人の注意をひくのは何と云つても 1931年の初頭を飾る遊星界の双璧である。(T M)



水星 今まで宵の星であつたのが、6日に太陽と合ひ、中旬から下旬にかけて暁天に現はれる。射手座の中を逆行し、17日に留となり、もとの道に歸つて行く。28日が西方最大離角(25度)だから、月末が観望に適する。その頃の光度は0等で、視直径は7秒足らずである。

金星 暁の明星として東天に輝き「天秤」、「射手」蛇遣の間を順行するが、月末に行く程太陽に先んじてくる。視直径は40秒から20余秒まで順減じ、光度は

火星 赤いなごやかな光りをなけて、「蟹」座を逆行し月末にはプレセペ星團の近くへ来る。一年中で地球に最も近く、視直径は24秒乃至26秒余で、観測の好機会である。光度負一等である。

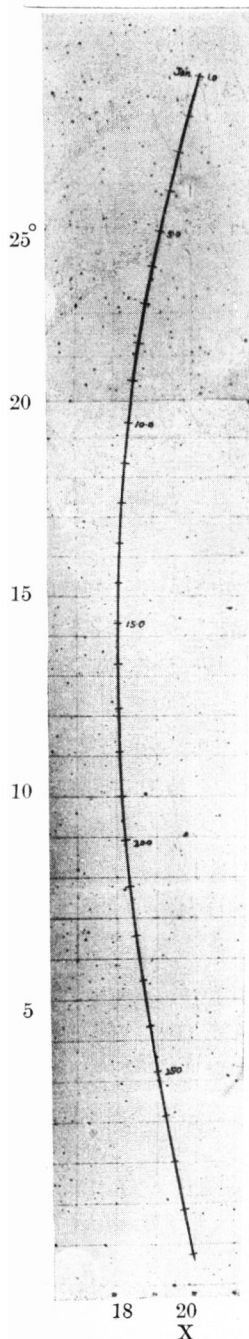
木星 去年プールの発見で人々の注意を引いた双子座のデルタ星の西を逆行する。6日に他球に最も近づき、視直径も 秒乃至 秒で此の月中は木星に親しむべき好期である。光度は負 等で断然聚星を抜いてゐる、

土星 此の月中は太陽に近くて見難いが月末には漸く暁の東天に僅かに姿を現はすであらう。視直径34秒、光度0.7等。

天王星 「うを」座のエプシロン星の西に居て、光度6等、視直径3秒余り。

海王星 「しし」座の主星レグルスの直ぐ後について昇る。光度8度、視直径二秒半ばかり。

冥王星 「ふたご」座のデルタ星の東2度の邊を逆行中。夜半に南中するので、観測の好時節であるが、大型望遠鏡でなければ駄目。(TM)

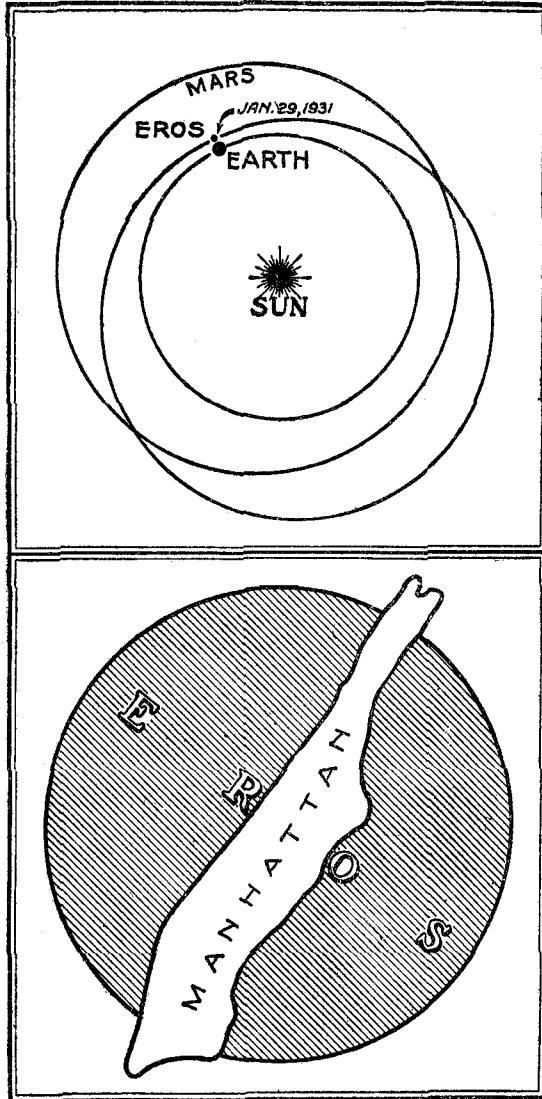


愈々エロス来る!!

やかましい評判のエロス星が、とうとう最近距離にやつて来た。今、獅子座を大急行で南下中、其の経路は左の寫眞の通り。(但し、ボン星圖にて、一月の毎日の午前九時の位置を示す。春分點は1855年初。)

月 日	赤經	赤緯	視差	光度
1931年	h m	° '	''	m
1月 1日	10 34.3	+ 36 31	39.7	7.6
2	25.3	25 42		
3	26.3	24 51		
4	27.2	24 0		
5	10 28.0	+ 23 7	41.8	7.5
6	28.7	22 13		
7	29.4	21 18		
8	30.0	20 22		
9	10 30.5	+ 19 25	43.9	7.4
10	30.9	18 27		
11	31.2	17 28		
12	31.4	16 27		
13	10 31.6	+ 15 26	45.9	7.3
14	31.7	14 24		
15	31.7	13 21		
16	31.6	12 17		
17	10 31.4	+ 11 12	47.6	7.2
18	31.1	10 7		
19	30.8	9 1		
20	30.4	7 55		
21	10 29.9	+ 6 48	49.0	7.1
22	29.3	6 41		
23	28.7	4 34		
24	28.0	3 26		
25	10 27.2	+ 2 19	49.9	7.1
26	26.3	1 12		
27	25.4	+ 0 5		
28	24.4	- 1 2		
29	10 23.4	- 2 8	50.3	7.1
30	22.3	3 13		
31	21.1	4 17		
2月 1日	19.9	5 21		
2	10 18.6	- 6 24	50.2	7.1

THE PATH OF TINY EROS



The Relative Positions in Space of the Orbits of the Earth, Eros and Mars. On January 29, 1931, Eros Will Make Its Rearest Approach to the Earth. Below—A Comparison Between the Lengths of Manhattan and the Diameter of Eros.

マンハッタンより小さいエロス!